

# 庄原市行政評価シート

平成 **27** 年度評価

<b>事務事業名</b>		しょうばら国際交流協会負担金			
<b>実施期間</b>	平成 17 年度 ~ 平成 年度 (終期の設定のない場合は、終期を空白)	<b>所管課</b>	市民生活課		

<b>長期総合計画</b>	5-05-01	ふるさとを愛する心で人が輝くまち(教育・文化)	交流事業の推進	各種交流の推進	
<b>予算科目</b>	会計 01 一般会計	目 11 国際交流費	款 02 総務費	項 01 総務管理費	事業 0402 国際交流事業

<b>対象者</b>	市民	<b>対象者数など</b>	会員:団体4
<b>根拠法令・計画等</b>			
<b>HPアドレス</b>			

<b>実施目的</b>	国際交流事業を通じて地域の国際化及び活性化を図るとともに、会員相互の交流を図り、国際相互理解の増進と国際友好親善の促進に寄与することを目的とする。
<b>事務事業の概要</b>	国際交流事業の企画、開催、運営について負担金を支給する。

年度別実績概要	
平成 24 年度	負担金:2,813,000円
平成 25 年度	負担金:3,498,000円
平成 26 年度	負担金:3,498,000円

**実績指標** (単位:千円)

	項目	内容	H 24	H 25	H 26	合計
			事業費	負担金	2,813	3,498
事業費 (インプット)						0
						0
		事業費計	2,813	3,498	3,498	9,809
	財源	国県補助金				0
		地方債				0
	その他				0	
	一般財源		2,813	3,498	3,498	9,809

	指標名称	単位	基準値	H 24	H 25	H 26	合計
				<b>実績 (アウトプット)</b>	1 日本語教室参加者数		460
	2 ホームステイ事業参加人数		26	26	23	23	72
	3 青少年海外研修事業参加人数		10	中止	5	8	13
<b>成果 (アウトカム)</b>	1						0
	2						0
	3						0
<b>備考</b>							

事務事業名	しょうばら国際交流協会負担金	所管課	市民生活課
-------	----------------	-----	-------

評価項目		所管課評価	市民意見	評価委員会	評価分布	
分布は、A:+1,B:0,C-1で総回答数で割り、小数点以下四捨五入。ただし、A-C又はC-AがBより多い場合は'A,C'に補正する					市民意見	評価委員会
<b>優先度</b>		B	B	B	分布 平均	分布 平均
A	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が高い事業である。				0	1
B	同じ分野の他の事業と比較し、優先度は中くらいの事業である。				5	6
C	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が低い事業である。				3	0
<b>認知度</b>		B	C	B	分布 平均	分布 平均
A	対象者以外にも、おおむねの内容は知られている事業である。				0	0
B	対象者には、おおむねの内容は知られている事業である。				2	5
C	一部の者を除き、事業があることすら知られていない。				6	-1
<b>有効性</b>		A	B'	B	分布 平均	分布 平均
A	費用に対して、効果・成果が高い事業である。				0	1
B	費用に対して、効果・成果が中くらいの事業である。				4	6
C	費用に対して、効果・成果が低い事業である。				4	-1
<b>受益者満足度</b>		A	B'	B	分布 平均	分布 平均
A	受益者(対象者)は、満足している事業内容である。				0	2
B	どちらともいえない。				0	5
C	受益者(対象者)が、満足できない事業内容である。(改善要望がある ほか。)				0	0
<b>市民(納税者)納得度</b>		A	B	B	分布 平均	分布 平均
A	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外も納得できる事業である。				2	1
B	どちらともいえない。				3	6
C	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外は納得できない事業である。				3	0
<b>代替性</b>		B	B	B	分布 平均	分布 平均
A	収益性や技術面から民間での実施が難しく、市が実施すべき事業である。				3	1
B	民間での実施も可能であるが、公共性・公平性などから市が関与すべき事業である。				2	5
C	市の関与は委託や助成とし、民間等での実施を検討すべき又は市が関与する必要はない事業である。				3	0
<b>まちづくり基本条例適合性</b>		A	B'	B	分布 平均	分布 平均
A	市民(団体等を含む。)の自立を促進する事業である。				1	2
B	市民の自立促進までは期待できないが、条例の趣旨(市民が主役のまちづくり)に沿った事業である。				3	4
C	条例の趣旨に沿った実施形態となるよう、手法・内容を見直すべき(終了を含む。)事業である。				4	0
<b>所管課評価</b>		<b>現行どおり</b>				
評価視点	外国人が暮らしやすく、異文化を理解・尊重しあえるまちづくりは重要であると考える。今後も事業内容を検討しながら、負担金事業としては現行どおりとすることについて意見を求める。					
所管課が課題と考える内容	国際情勢やニーズを考慮した参加をしやすい行事の企画が必要である。					
<b>市民意見(プラモニ)</b>		※市民意見は、意見数集計のみを評価とします。(プラモニとしての総括評価はありません。) ※全意見は、ホームページに掲載しています。				
意見数分布	現行どおり	拡充	縮小	終了	その他の見直し	総回答数
	3	0	4	0	1	8
主な意見	【現行どおり】 ・庄原市に在住若しくは永住しようとする外国籍・日本への移住者への文化的な援助をする団体として必要だと考えます。こういった団体や活動があることも知りませんでした。自分でも何か協力できることがあればと思います。【40代・男性】					
	・もっとも市民全体の盛り上がりになっていけばよいと思います。【法人団体登録者】					
	・総会資料等拝見しましたが、負担金がどのように運用されてどの様な成果を生んでいるのか、分かりにくく、評価に困りました。外国の方が親しみやすく暮らしやすい市になるためには、必要な事業だと思います。【30代・女性】					
	【縮小】 ・国際交流が必要であることは認めるが、自分たちの住んでいる庄原市そのものをもっと理解することが必要なのではないかと。そのうえで国際交流を図ることが必要だと思う。【50代・男性】					
	・必要な事業とは思いますが、人件費がだいぶかかっているようで、市の負担金で雇用する必要があるのか疑問です。【40代・女性】 ・予算書を見ると、人件費と海外研修支援が大半です。海外研修は、グローバルな人材を育てるため必要と思いますが、人件費がこの協会の内容でこれだけの人件費が必要ですか？民間なら時間労働か他の業務もする形式になると思います。負担金になると税金を使っているとの意識が行政・団体とも薄くなるのではないのでしょうか。庄原におられる外国人の方には心強いと思いますので、工夫して市民が納得できる運営をお願いしたいです。【60代・男性】					
【その他の見直し】 ・ほかの学習事業と一体的に行ったほうが、事業の広がりがあがると思う。【60代・男性】						

<b>行政評価委員会評価</b>	<b>その他の見直し</b>	※行政評価委員会の摘録(会議内容)は、ホームページに掲載しています。
------------------	----------------	------------------------------------

総括意見	<p>日本語教室、相談事業等、外国人を支援事業する役割は重要であるが、事業開始から長期間経過していることから、1つ1つの事項について点検・検証し、見直しを行う時期が到来している。</p> <p>については、次の事項を考慮し、今後の事業の方向性を検討されたい。</p> <p>① 相談業務については、事例等のノウハウが蓄積され、以後の相談業務にいかされるよう検討すること。</p> <p>② 関係組織との協働体制の充実強化、スポンサー企業の確保に努めること。</p> <p>③ 教育、人権等の側面からの支援も重要であり、他の施策との整合を図ること。</p> <p>④ 大事な事業であるからこそ、市民にわかりやすい事業名称とするよう配慮すること。</p>
------	---

※委員会における最終的な評価として総括したものであり、最も分布の多い評価を優先するものではありません。

評価分布	現行どおり	拡 充	縮 小	終 了	その他の見直し
	3		1		3

各委員の意見	<p>【現行どおり】</p> <p>①市民意見にもあるように必要な事業と考えますが、多くの他の市と同様に市の中に協会事務局を設置し、行政と一層連携することにより事業効果を図ることが必要と考えます。</p> <p>②これからの社会は、インターネットによる情報化と同時に人口減少による外国人労働者の受け入れと、外国人観光客の増加に伴う国際化は益々進み、同時に市民の海外旅行も増加すると考えます。</p> <p>従って、国際交流機関によるホームステイなど国際交流や外国人のコミュニケーションの場を設けるなどの役割は、大きくなると考え当面現行通り、将来的には拡大も必要になると考えます。</p> <p>③しょうばら国際交流協会の活動を推進するために、会員・団体に加え、外国籍の方々が就労されている企業等にも協力・出資していただき、活動を市民に周知し、多くの方に関心を持っていただくことで、さらに充実した国際交流を促進していただきたい。</p> <p>【縮小】</p> <p>④国際交流は、庄原で暮らす外国人の支援、交流等に、とても意義のある事業だと思っておりますが、公民館、地域活動等との協働等を含めて、現在の業務内容を精査して、少しでも経費の縮減に努めてもらいたいと思っております。</p> <p>【その他の見直し】</p> <p>⑤・国際交流の意義は認められるものの、協会の運営や事業の実施について、再検討を要すると思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教室についても対象者の内容は不明ですが、検討する必要があると思っております。</li> <li>・就労の場合は、受け入れ企業での体制ができていないはずですが。</li> <li>・個人会員や団体会員も多いのであるから、もっと民間レベルでの交流を促進する必要があると思っております。</li> <li>・青少年海外研修事業助成金以外は、経費削減に努めるべきだと思っております。</li> </ul> <p>⑥国際交流は推進すべき事業だと思っております。活動内容を広め、他の団体、他の事業と連携し（学校行事・敬老会・自治会行事など）子供達や高齢の方々との交流の場を作り、みんなで関わっていける事業になればと思っております。</p> <p>また、協会運営には人件費が掛かるのは当然ですが、事業費を上回っているのは疑問です。</p> <p>⑦結婚や雇用により庄原に在住する外国人に日本語を学ぶ機会があることはとても喜ばしいことです。ただ、中央1ヶ所だけでは十分ではないように思います。地域に広がることが望ましい。特に、小中学生への日本語教育はとても大切に教育委員会とも協力しながら行っていただきたい</p>
--------	---

<b>今後の事業実施の方向性</b>	
--------------------	--

詳細	
備考	